

J A 太田市の 自己改革

～「あってあたりまえ」ではなく
「なくてはならないJA」になるために～

J A 太田市では「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」について、さまざまな声を聴き、組合員・利用者の皆様が安心して暮らせる地域づくりを目指し、自己改革に取り組んでいます。

本誌では平成28年～30年度にかけて実践してきた自己改革の報告を行い、今後も「なくてはならないJA」を目指し、自己改革を進めてまいります。



J A 太田市の 自己改革について

平成28年度総代会においてJ A太田市『第5次3か年計画』が策定され、第40回J A群馬県大会で決議された組合員が実感できる自己改革の実践として「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合の確立」をテーマに、10年後の目指すJ A太田市の姿の実現に向け取り組んでまいりました。

J A太田市は、自己改革を推進するにあたって、次の経営理念と基本方針を掲げ、各事業体でさまざまな施策、事業活動を展開しています。

組合員をはじめとする皆様からの負託と信頼に応え、組合員・地域の方から必要とされる「あってあたりまえ」から、「なくてはならないJ A」へ役職員一丸となって自己改革を実践してまいる所存あります。

J A太田市自己改革実践基本事項

- ①農業者の所得増大 ②農業生産の拡大 ③地域の活性化

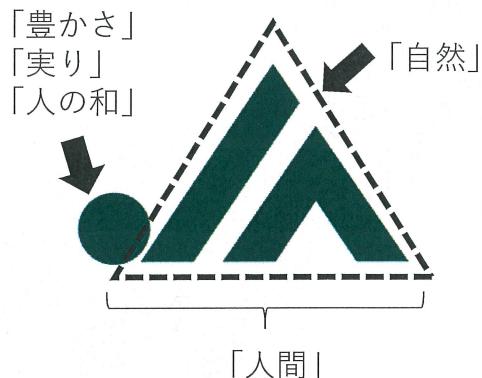
J A太田市経営理念

- ・自然を大切に食と緑と水を守り、食の安全と人の命を育む農業を守ります。
- ・地域農業を振興し組合員の営農と生活の向上を図ります。
- ・地域社会と共生し、地域で信頼され頼りにされるJ Aを目指し、豊かな暮らしの実現と地域の発展に貢献します。
- ・相互扶助を共通の理念として民主的運営と健全経営に努め、組合員・地域住民の視点で展開する事業・活動を実践します。

J A太田市基本方針

- ①提案型の営農指導ができる体制の構築確立。
- ②生産から集荷、販売までの体制を見直す。
- ③組合員や地域住民とのコミュニケーションを図り、利用者満足度の向上を目指す。
- ④健全経営体制確立のため、リスク管理を強化し不祥事の未然防止に取り組む。
- ⑤プロ意識の高い職員の養成に取り組む。

J Aマークについて



J Aって何の略?

→J A(=農業協同組合)は、Japan Agricultural Cooperativesの略称です。

J Aマークとは?

→「ゆるぎない大地」「日本の国土」をイメージしており、平成4年から現在のマークを使用しています。

J Aマークの意味は?

→J Aのマークには「自然」「豊かさ」「実り」「人の和」「人間」の意味が含まれています。

◆◇◆ J A 太田市自己改革実践基本事項 ◆◇◆

① 「農業者の所得増大」の取り組み

【米麦農業の所得増大】

水稻栽培については、高温障害対策品種である「ゆめまつり」の普及推進を実践し、小麦については、現地での栽培技術指導を実践し、品質向上による有利販売を行うことにより、経営所得の安定・増加を図っています。

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
出荷量実績(米)	カントリー	3,141 t	3,022 t	3,128 t	2,798 t
	個体	420 t	510 t	540 t	570 t
等級比較(麦)	—	Bランク	Bランク	Aランク	Aランク、1等 (つるびかり2等)
講習会・研修会の実施回数	—	4回	6回	5回	5回
講習会・研修会の参加人数	—	311人	296人	252人	209人



水稻現地研修会



カントリー運営委員会による麦の下見会

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
生産面積 (ゆめまつり)	53.5ha	70.1ha	78.9ha	82.3ha
出荷実績 (ゆめまつり)	263 t	342 t	384 t	401 t

■ その他の取り組み

米の品質向上へ繋げることを目的に、多発している「稻こうじ病」対策として、J A 太田市ではモンガリット粒剤3kgを対象に1,000円の助成を実施しました。

(平成30年度)

購入者	134人
供給実績	1,062袋

【園芸農業の所得増大】

ねぎ・ほうれん草・小松菜・小玉スイカ・いちごなどJA太田市ブランド作物の確立のため、栽培講習会・現地研修会の開催により技術の高位平準化を図っています。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
野菜の出荷量実績	9,385 t	10,795 t	10,303 t	10,424 t
野菜の販売高実績	3,493,200千円	4,217,340千円	4,370,692千円	4,153,764千円
講習会の実施回数	27回	28回	29回	33回
講習会の参加人数	502人	565人	489人	623人
目揃会の実施回数	15回	17回	21回	22回
目揃会の参加人数	456人	520人	546人	580人
新規就農者	4人	5人	8人	6人

▼主要8品目+aの各出荷量

単位:t

品目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
ほうれん草	2,853	3,554	3,412	4,242
小松菜	2,247	2,379	1,777	1,371
ねぎ	1,088	1,113	1,136	1,069
なす	383	521	571	585
枝豆	122	136	180	219
春菊	94	88	76	72
モロヘイヤ	61	62	65	83
ブロッコリー	150	101	144	166
(小玉西瓜)	1,120	1,127	1,064	1,093



栽培講習会



目揃会（薮塚野菜センター）



目揃会（野菜センター）

▼主要8品目+aの各販売高

単位:千円

品目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
ほうれん草	1,487,183	1,953,242	2,170,575	2,072,576
小松菜	745,130	761,082	600,528	413,587
ねぎ	276,178	306,099	345,410	296,920
なす	140,724	194,052	191,659	218,958
枝豆	80,284	91,344	113,342	155,507
春菊	49,996	59,141	62,446	47,079
モロヘイヤ	45,599	43,951	54,099	69,723
ブロッコリー	28,772	33,087	53,296	41,806
(小玉西瓜)	287,361	327,809	314,578	342,124

【農産物生産コスト削減】

品目を集め約し大量製造を行うことによって、供給価格の低下図り、コストの削減を行っています。

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
JA 14号価格	前期	1,540円	1,470円	1,370円	1,600円
	後期	1,540円	1,370円	1,370円	1,600円
化成14号価格	—	—	—	1,200円	1,190円
全農低価格 トラクター	—	—	—	—	8台

■ その他の取り組み

- ・ダンボール8品目値下げ
- ・F G袋4品目値下げ
- ・トラクターの共同購入



化成肥料
14-14-14



正味20kg

供給 全農

化成肥料14-14-14 ■■■

変わるJA 広がる地域のきずな

変わるJA 広がる地域のきずな

Q. JAの自己改革で農家は元気になるの?

A. 現場のニーズに応え、農家の所得増大と生産の拡大を支えます。

JAグループは、自己改革で「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの基本目標を掲げています。「農業者の所得増大」は、①有利販売による単価アップ②需要に応じた生産量の拡大③生産コストの引き下げ——によって達成します。「農業生産の拡大」に向けては、農業生産基盤の維持・拡大のため、次世代の担い手の育成を進めます。また、「販売品取扱高の拡大」を共通目標とし、組合員と課題を共有し、知恵を出し合いながら取り組んでいきます。

JAグループは、JAグループがめざす姿として、「消費者の信頼にこたえ、安全で安心な国産農畜産物を持続的・安定的に供給できる地域農業を支え、農業者の所得増大を支える姿」を掲げています。地域農業や国産農畜産物への消費者の理解を広げ、農業の応援団を増やすための活動も行っています。地域の皆さんの協同の力で、地域農業とその主人公である農家が元気になるための取り組みを、自己改革を通じてより一層進めていきましょう。

監修=広島大学
助教 小林元

「農業者の所得増大」の考え方



注) 共通目標として掲げる「販売品取扱高の拡大」は、有利販売による販売単価のアップと生産拡大を反映した「農畜産物等の販売収入」に加えて、政策活用や6次産業化等による利用・加工事業を含めたものとします。



耕そう、大地と地域のみらい。

◆◆◆ JA太田市自己改革実践基本事項 ◆◆◆

②「農業生産の拡大」の取り組み

【農業規模の拡大】

農業の規模拡大において、農産物の栽培体系相談はもちろん、出荷までの過程を考慮した相談を行い、規模拡大に向けた補助事業の活用など有益な情報の提供も行っています。

■補助事業の実績

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
ハウスの 増設数	27棟	160棟	151棟
規模拡大の 農家数	8軒	13軒	21軒



【雇用確保に向けた取り組み】

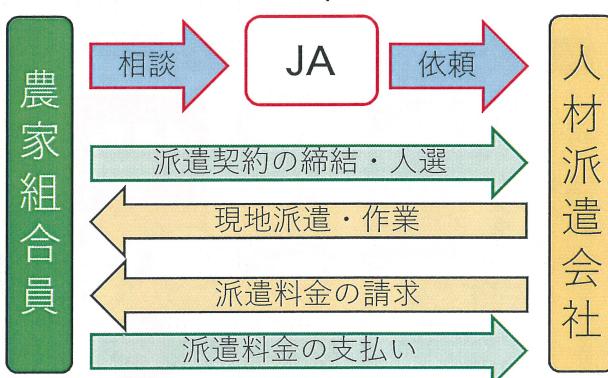
農業雇用者の適時適所の利用斡旋について、JAが仲介を行ったことにより、農家の雇用リスク軽減や万が一の急な対応が図れるようになっています。

また、行政等に対して、農業雇用者の確保に向けた要請を継続しています。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
人材派遣 依頼生産者数	4件	24件	36件



(※平成28年11月より開始)



【納税相談等の実施取り組み】

専門的な知識を必要とする税務については、個々の農家さんに対してJAが相談を含め、記帳に関する手続きの支援やお手伝いを行うことで、農業生産に専念し、生産拡大を図っていただいています。

◆◇◆ J A 太田市自己改革実践基本事項 ◆◇◆

③「地域の活性化」の取り組み

【農業祭の開催】

毎年11月に農業祭を開催しています。

農業祭は、触れ合う機会の少なくなってしまった農業に対して接していただくことにより、農業への理解を深めてもらう事を目的とし、地域の方をはじめ、大勢の方の来場をいただいています。

■「第11回農業祭」のコンセプト（※平成30年度実施）

農業祭を通じ、太田市の農産物や農業に対する地域住民の理解を深め、農業の地域への貢献・活性化に向けたアピールを行う。

この為、平成30年度の農業祭では、“太田市農産物”や“太田市の農業”的アピールを目的としたイベントを実施。



「煮卵」の販売



餅つき体験



来場者参加型のステージイベント



青壮年部の部員が作った「野菜の宝船」

【支所を核とした地域貢献】

現在、JA太田市の各支所において、来店感謝キャンペーンや地域に密着した活動を行うことによる地域密着型の展開を行っています。

■支所の表彰

平成28年度 「支所だよりの部」宝泉支所が優秀賞を受賞

受賞理由・・・地区の行事や各事業の説明のわかりやすさが評価されました。

平成29年度 「支所だよりの部」休泊支所が優秀賞を受賞

受賞理由・・・毎月1回、定期的に発行し、見やすく、季節を盛り込み、支所の業務内容が伺える内容であることが評価されました。

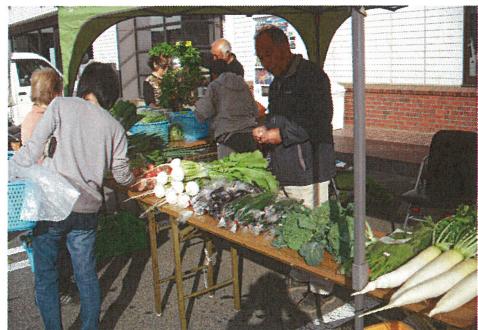
■その他支所の取り組み事例

・野菜の直売会（藪塚本町支所）

→組合員等で組織されている“やぶづか朝市の会”とタイアップし、新鮮な野菜を販売

・各支所の日に来所記念品をプレゼント

→支所への来店・利用へ繋げる



【管内農業の食農教育】

管内小中学校への食育の働きかけや、各生産部会からの地域への発信展開を行うことで農業に対する理解を深めています。

また、学校給食での米飯は全て当JA管内で生産されたものを使っていただき、地産地消についての働きかけも行っています。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
学校給食への供給高	189 t	195 t	271 t	241 t
食育の実施学 校数	11校	11校	11校	11校

食農教育の主な実践内容

- ・田植え指導
- ・稲刈り指導
- ・もみふりなど



播種作業指導



田植え体験指導



稲刈り指導

J Aの健全経営と職員育成の取り組み

ファシリティーマネジメント手法を用いた資産の効率的な運用

保有資産を有効的かつ効率的な運用を行うため、外部より専門家を招いて研修会を実施し、組合の健全経営体制の確立に向けた取り組みを実施しています。

J A太田市では、平成31年3月に九合支所へ「太田支所」の全業務移管を実施いたします。

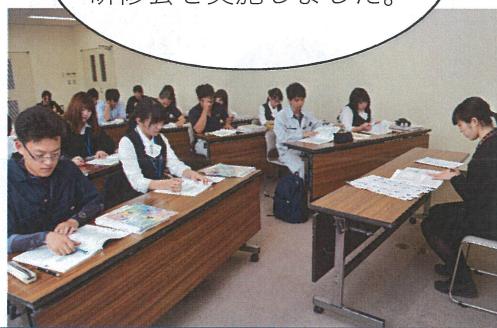
コンプライアンス研修

不祥事『0』を目的として、毎年常勤役員による全職員に対して研修会を実施。不祥事未然防止対策やJ A太田市職員としてあるべき姿などの研修により、職員のモラル向上に寄与しています。

▼役職員対象のコンプライアンス研修会実施回数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
新入職員対象	1回	1回	1回
全体職員対象	7回	4回	4回
役員対象	1回	1回	1回
管理職員対象	2回	2回	1回

平成30年度には全職員を対象としたマナーアップ研修会を実施しました。



農業関係体制の構築取り組み

農業規模拡大に向けた提案できる体制構築

農業規模拡大に向けて適切な資金提案が行えるよう、営農指導だけではなく、経営指導が行える人材育成と体制構築をすすめています。

▼農業融資の実績

平成28年度	平成29年度	平成30年度
197百万円	105百万円	149百万円

【農林中央金庫への出張研修内容】

- ・農業者への融資の基礎知識の習得
- ・農家訪問による融資の説明



流通経路の見直しと新たな体制構築

売れる作物の栽培促進を図り、適切な資金提案が行えるよう、営農指導だけではなく、経営指導が行える体制構築をすすめています。

【実践事例】

- ・市場にてトップセールスの実施
- ・新規市場への出荷
- ・タイヘイチゴの出荷
- ・契約出荷(小松菜の週間値を決めて販売)
- ・大手スーパーへ直送便で配達
- ・トレビス等の西洋野菜の出荷
- ・ふるさと納税返礼品の実施 等



生産部会と役職員によるトップセールス

無料で実施をしている各種相談会



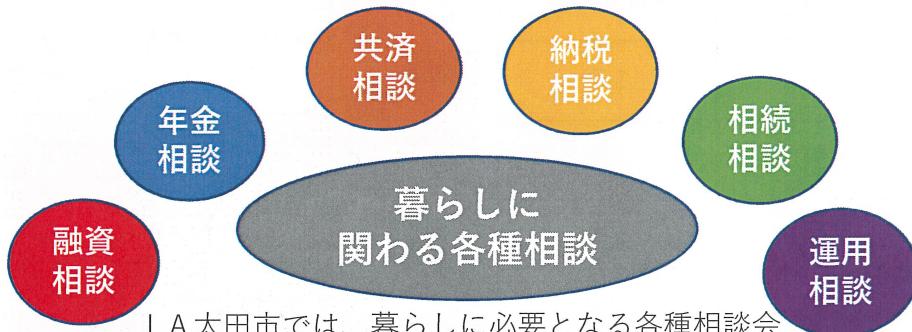
【年金相談】社会保険労務士の先生を招き、年金受給者へ相談会を開催しています。



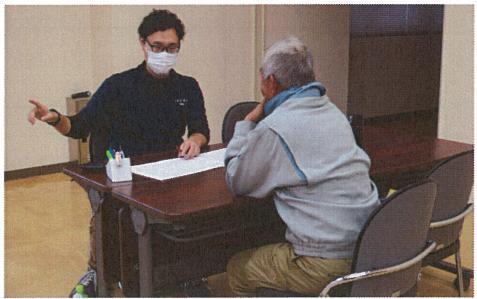
【共済相談】スマイルサポートーやライフアドバイザーがお客様のご要望に「相続対策セミナー」や「遺言セミナー」を定期的に開催しています。



【相続セミナー】外部講師を招いて定期的に「相続対策セミナー」や「遺言セミナー」を定期的に開催しています。



J A 太田市では、暮らしに必要となる各種相談会を開催し、組合員・地域の方へ暮らしのサポートを実施し、地域より必要とされる J A 活動を展開しています。



【納税相談】職員が1人1人の確定申告等のサポートを行っています。

変わるJA 広がる地域のきずな

変わるJA 広がる地域のきずな

監修=広島大学
助教 小林元

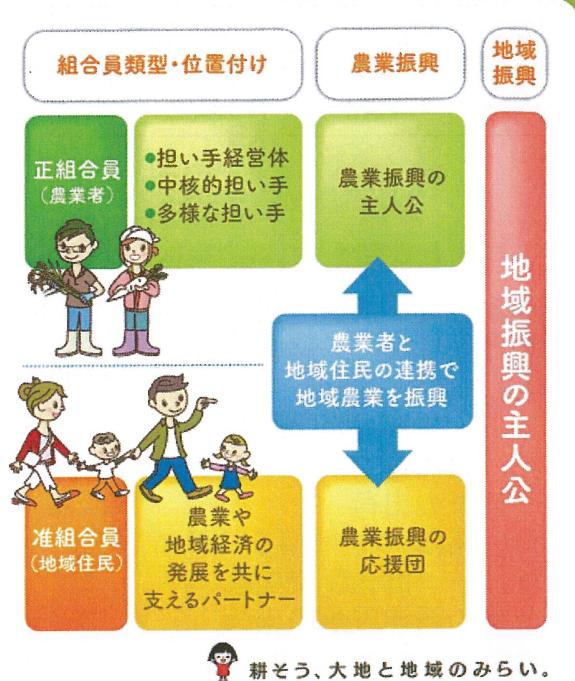
Q. JAの正組合員と准組合員の違いって何?

A. 正組合員は農業の主人公、准組合員は地域を豊かにする協同の仲間です。

JAの組合員は、農協法の中で、正組合員と准組合員に区分されています。JAの正組合員は、農業を営む人々や農業で働く人々、そして農家の家族の皆さんです。協同の力で豊かな農業を育むと共に、消費者に安全で安心な農畜産物をお届けすることで、わが国の食と農を守り、農業を通じて地域を豊かにする主人公、それがJAの正組合員です。

対して、農業に直接的に関わることがあまりない人々も含めて、だれでもJAの総合事業を利用できるように、准組合員という仕組みがあります。准組合員は、事業を利用するだけではありません。正組合員がつくった農産物を食べる人々でもあり、地域農業を、食を通じて支える大事な仲間です。中には、食べるだけでなく、一緒に農業に関わる准組合員も増えています。

現在の制度では、JAの運営は正組合員を中心となっています。これからは対話を通じて、准組合員の声もJAの運営に反映することが大事になっています。



J Aは、 地域を支える多くの役割 を担っています。

車などで走っているとよく見かける『JA』の看板。JAはどうしていろいろな事を行っているの?と思うかもしれません。でも、地域の農業を守るためにには、まず地域社会の安心、経済の安定が必要となります。JAは地域の暮らしに寄り添いながら様々な活動を展開しています。JA太田市をはじめ、群馬県には15のJAがありますが、もしJAがなくなったら...?



直売所が なくなったら!



地域で作られているおいしい農産物をお手軽に手に入れることができません。直売所は地元の生産者が採れたてを直接出荷し、消費者と生産者の交流の場となっています。

ATMが なくなったら!



振込みや現金の引き出しなど、日常生活であたりまえのように行っているお金のやり取り。もしそのあたりまえがなくなってしまったら大変です。

JAバンクのATMは各地で稼働中。手数料無料のATMネットワークは業界トップクラスです！

ガソリン スタンドが なくなったら!



自動車の燃料や農業機械の燃料、生活で使う灯油など、ガソリンスタンドが無くなると大変！

JAのガソリンスタンドは県内各地に60店舗以上展開し、地域に密着したサービス提供を行っています。

J A店舗が なくなったら!



地域で悩み事の相談ができる機会が減ってしまう！

JAは地域の皆さんに寄り添い、いつでもご相談いただけるよう、店舗の営業を続け地域に貢献しています。

農業や農地が なくなったら!



生きていくのに必要な農産物の生産や、環境保全など多面的役割が果たせなくなります！

JAは安全・安心な農産物を安定供給する組織として、生産者とともに地域の農業を支えています。また農業には地域の景観維持や環境保全など大切な役割も担っています。

カントリー エレベーターが なくなったら!



お米の乾燥・調整・貯蔵などの作業を生産者自ら作業する必要があるため、莫大な費用や労力が必要になります！

生産者の負担を減らし、効率的な農業をサポートするためJAのカントリー エレベーター や野菜の集出荷施設などは稼動しています。

J A太田市 管内施設・事業所マップ



 **J A太田市** JAは地域のみなさんの応援団です。

HPはコチラ

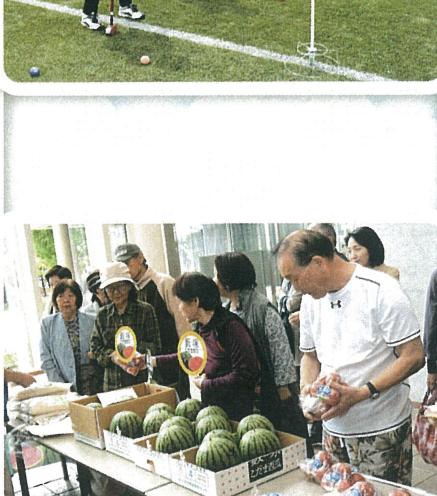


J A太田市の 自己改革

～「あってあたりまえ」ではなく
「なくてはならないJA」になるために～

J A太田市では「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」について、さまざまな声を聴き、組合員・利用者の皆様が安心して暮らせる地域づくりを目指し、自己改革に取り組んでいます。

本誌では平成28年～30年度にかけて実践してきた自己改革の報告を行い、今後も「なくてはならないJA」を目指し、自己改革を進めてまいります。



J A太田市の 自己改革について

平成28年度総代会においてJA太田市『第5次3か年計画』が策定され、第40回JA群馬県大会で決議された組合員が実感できる自己改革の実践として「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合の確立」をテーマに、10年後の目指すJA太田市の姿の実現に向け取り組んでまいりました。

J A太田市は、自己改革を推進するにあたって、次の経営理念と基本方針を掲げ、各事業体でさまざまな施策、事業活動を展開しています。

組合員をはじめとする皆様からの負託と信頼に応え、組合員・地域の方から必要とされる「あってあたりまえ」から、「なくてはならないJA」へ役職員一丸となって自己改革を実践してまいる所存であります。

J A太田市自己改革実践基本事項

- ①農業者の所得増大
- ②農業生産の拡大
- ③地域の活性化

J A太田市経営理念

- ・自然を大切に食と緑と水を守り、食の安全と人の命を育む農業を守ります。
- ・地域農業を振興し組合員の営農と生活の向上を図ります。
- ・地域社会と共生し、地域で信頼され頼りにされるJAを目指し、豊かな暮らしの実現と地域の発展に貢献します。
- ・相互扶助を共通の理念として民主的運営と健全経営に努め、組合員・地域住民の視点で展開する事業・活動を実践します。

J A太田市基本方針

- ①提案型の営農指導ができる体制の構築確立。
- ②生産から集荷、販売までの体制を見直す。
- ③組合員や地域住民とのコミュニケーションを図り、利用者満足度の向上を目指す。
- ④健全経営体制確立のため、リスク管理を強化し不祥事の未然防止に取り組む。
- ⑤プロ意識の高い職員の養成に取り組む。

J Aマークについて

J Aって何の略?

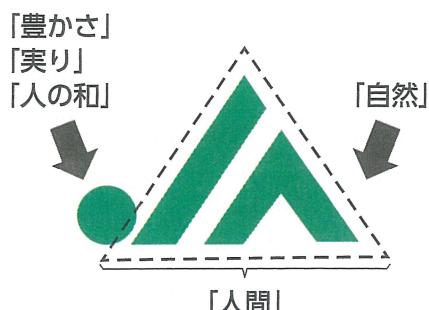
→JA（＝農業協同組合）は、Japan Agricultural Cooperativesの略称です。

J Aマークとは?

→「ゆるぎない大地」「日本の国土」をイメージしており、平成4年から現在のマークを使用しています。

J Aマークの意味は?

→JAのマークには「自然」「豊かさ」「実り」「人の和」「人間」の意味が含まれています。



◆◆◆ JA太田市自己改革実践基本事項 ◆◆◆

1. 「農業者の所得増大」の取り組み

米麦農業の所得増大

水稻栽培については、高温障害対策品種である「ゆめまつり」の普及推進を実践し、小麦については、現地での栽培技術指導を実践し、品質向上による有利販売を行うことにより、経営所得の安定・増加を図っています。

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
出荷量実績 (米)	カントリー	3,141 t	3,022 t	3,128 t	2,798 t
	個体	420 t	510 t	540 t	570 t
等級比較(麦)	—	Bランク	Bランク	Aランク (つるびかり2等)	Aランク、1等
講習会・研修会の実施回数	—	4回	6回	5回	5回
講習会・研修会の参加人数	—	311人	296人	252人	209人



▲水稻現地研修会



▲カントリー運営委員会による麦の下見会

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
生産面積(ゆめまつり)	53.5ha	70.1ha	78.9ha	82.3ha
出荷実績(ゆめまつり)	263 t	342 t	384 t	401 t

■他の取り組み

米の品質向上へ繋げることを目的に、多発している「稻こうじ病」対策として、JA太田市ではモンガリット粒剤3kgを対象に1,000円の助成を実施しました。

(平成30年度)

購入者	134人
供給実績	1,062袋

園芸農業の所得増大

ねぎ・ほうれん草・小松菜・小玉スイカ・いちごなどJA太田市ブランド作物の確立のため、栽培講習会・現地研修会の開催により技術の高位平準化を図っています。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(12月末)
野菜の出荷量実績	9,385t	10,795t	10,303t	7,845t
野菜の販売高実績	3,493,200千円	4,217,340千円	4,370,692千円	3,097,280千円
講習会の実施回数	27回	28回	29回	28回
講習会の参加人数	502人	565人	489人	548人
目揃会の実施回数	15回	17回	21回	22回
目揃会の参加人数	456人	520人	546人	580人
新規就農者	4人	5人	8人	6人

▼主要8品目+aの各出荷量

単位:t

品 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (12月末)
ほうれん草	2,853	3,554	3,412	3,229
小松菜	2,247	2,379	1,777	1,210
ねぎ	1,088	1,113	1,136	659
なす	383	521	571	584
枝豆	122	136	180	219
春菊	94	88	76	57
モロヘイヤ	61	62	65	83
ブロッコリー	150	101	144	138
小玉スイカ	1,120	1,127	1,064	1,089



▲栽培講習会



▲目揃会（藪塚野菜センター）



▲目揃会（野菜センター）

▼主要8品目+aの各販売高

単位:千円

品 目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (12月末)
ほうれん草	1,487,183	1,953,242	2,170,575	1,553,352
小松菜	745,130	761,082	600,528	335,589
ねぎ	276,178	306,099	345,410	200,748
なす	140,724	194,052	191,659	218,637
枝豆	80,284	91,344	113,342	155,507
春菊	49,996	59,141	62,446	35,063
モロヘイヤ	45,599	43,951	54,099	69,723
ブロッコリー	28,772	33,087	53,296	32,612
小玉スイカ	287,361	327,809	314,578	339,559

農産物生産コスト削減

品目を集約し大量製造を行うことによって、供給価格の低下を図り、コストの削減を行っています。

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
JA 14号価格	前期	1,540円	1,470円	1,370円	1,600円
	後期	1,540円	1,370円	1,370円	1,600円
化成14号価格	—	—	—	1,200円	1,190円
全農低価格トラクター	—	—	—	—	8台

■他の取り組み

- ・ダンボール8品目値下げ
- ・FG袋4品目値下げ
- ・トラクターの共同購入



化成肥料
14-14-14



正味20kg

供給 全農

化成肥料14-14-14

変わるJA 広がる地域のきずな

変わるJA 広がる地域のきずな

Q. JAの自己改革で農家は元気になるの?

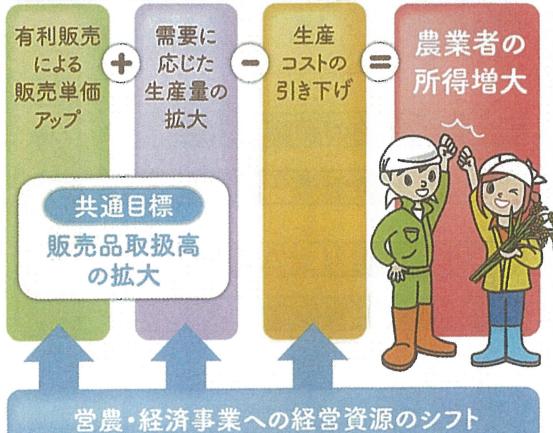
監修=広島大学
助教 小林元

A. 現場のニーズに応え、農家の所得増大と生産の拡大を支えます。

JAグループは、自己改革で「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの基本目標を掲げています。「農業者の所得増大」は、①有利販売による単価アップ②需要に応じた生産量の拡大③生産コストの引き下げ——によって達成します。「農業生産の拡大」に向けては、農業生産基盤の維持・拡大のため、次世代の担い手の育成を進めます。また、「販売品取扱高の拡大」を共通目標とし、組合員と課題を共有し、知恵を出し合いながら取り組んでいきます。

JAグループは、JAグループがめざす姿として、「消費者の信頼にこたえ、安全で安心な国産農畜産物を持続的・安定的に供給できる地域農業を支え、農業者の所得増大を支える姿」を掲げています。地域農業や国産農畜産物への消費者の理解を広げ、農業の応援団を増やすための活動も行っています。地域の皆さんの協同の力で、地域農業とその主人公である農家が元気になるための取り組みを、自己改革を通じてより一層進めていきましょう。

「農業者の所得増大」の考え方



注) 共通目標として掲げる「販売品取扱高の拡大」は、有利販売による販売単価のアップと生産拡大を反映した「農畜産物等の販売収入」に加えて、政策活用や6次産業化による利用・加工事業を含めたものとします。



耕そう、大地と地域のみらい。

2. 「農業生産の拡大」の取り組み

農業規模の拡大

農業の規模拡大において、農産物の栽培体系相談はもちろん、出荷までの過程を考慮した相談を行い、規模拡大に向けた補助事業の活用など有益な情報の提供も行っています。

《補助事業の実績》

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
ハウスの増設数	27棟	160棟	151棟
規模拡大の農家数	8軒	13軒	21軒



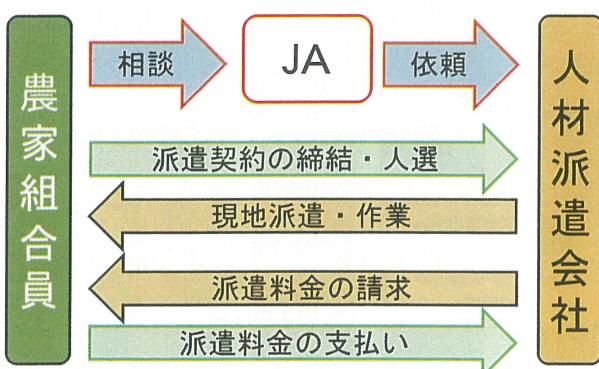
雇用確保に向けた取り組み

農業雇用者の適時適所の利用斡旋について、JAが仲介を行ったことにより、農家の雇用リスク軽減や万が一の急な対応が図れるようになっています。

また、行政等に対して、農業雇用者の確保に向けた要請を継続しています。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (12月末)
人材派遣依頼生産者数	4件	24件	20件

(※平成28年11月より開始)



納税相談等の実施取り組み

専門的な知識を必要とする税務については、個々の農家さんに対してJAが相談を含め、記帳に関わる手続きの支援やお手伝いを行うことで、農業生産に専念し、生産拡大を図っていただいているいます。



3. 「地域の活性化」の取り組み

農業祭の開催

毎年11月に農業祭を開催しています。

農業祭は、触れ合う機会の少なくなってしまった農業に対して接していただくことにより、農業への理解を深めてもらう事を目的とし、地域の方をはじめ、大勢の方の来場をいただいています。

■「第11回農業祭」のコンセプト（※平成30年度実施）

農業祭を通じ、太田市の農産物や農業に対する地域住民の理解を深め、農業の地域への貢献・活性化に向けたアピールを行う。

この為、平成30年度の農業祭では、“太田市産農産物”や“太田市の農業”的アピールを目的としたイベントを実施。



▲「煮卵」の販売



▲餅つき体験



▲来場者参加型のステージイベント



▲青壮年部の部員が作った「野菜の宝船」

【イベント】

- ①太田市産小麦を使用した「うどん」の販売
- ②太田市産の卵を使用した「煮卵」の販売
- ③太田市産小麦を使用した「やきそば」「あげぱん」の販売
- ④太田市産ほうれん草を使用した「温菜スープ」の販売
- ⑤県内産のハム・ベーコンを使用した「山賊焼き」の販売

【その他】

- ①青壯年部の部員による「野菜の宝船」の作成・展示
- ②農産物品評会
- ③スタンプラリーの実施

支所を核とした地域貢献

現在、JA太田市の各支所において、来店感謝キャンペーンや地域に密着した活動を行うことによる地域密着型の展開を行っています。

■支所の表彰

平成28年度 「支所だよりの部」 宝泉支所が優秀賞を受賞

受賞理由・・・地区の行事や各事業の説明のわかりやすさが評価されました。

平成29年度 「支所だよりの部」 休泊支所が優秀賞を受賞

受賞理由・・・毎月1回、定期的に発行し、見やすく、季節を盛り込み、支所の業務内容がうかがえる内容であることが評価されました。

■その他支所の取り組み事例

・野菜の直売会（藪塚本町支所）

→組合員等で組織されている“やぶづか朝市の会”と
タイアップし、新鮮な野菜を販売

・各支所の日に来所記念品をプレゼント

→支所への来店・利用へ繋げる



管内農業の食農教育

管内小中学校への食育の働きかけや、各生産部会からの地域への発信展開を行うことで農業に対する理解を深めています。

また、学校給食での米飯は全て当JA管内で生産されたものを使っていただき、地産地消についての働きかけも行っています。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
学校給食への供給高	189 t	195 t	271 t	241 t
食育の実施学校数	11校	11校	11校	11校

食農教育の主な実践内容

- ・田植え指導
- ・稲刈り指導
- ・もみふり など



▲播種作業指導



▲田植え体験指導



▲稲刈り指導

J Aの健全経営と職員育成の取り組み

ファシリティーマネジメント手法を用いた資産の効率的な運用

保有資産を有効的かつ効率的な運用を行うため、外部より専門家を招いて研修会を実施し、組合の健全経営体制の確立に向けた取り組みを実施しています。

J A太田市では、平成31年3月に九合支所へ「太田支所」の全業務移管を実施いたします。

コンプライアンス研修

不祥事『0』を目的として、毎年常勤役員による全職員に対して研修会を実施。不祥事未然防止対策やJ A太田市職員としてあるべき姿などの研修により、職員のモラル向上に寄与しています。

▼役職員対象のコンプライアンス研修会実施回数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
新 入 職 員 対 象	1回	1回	1回
全 体 職 員 対 象	7回	4回	4回
役 員 対 象	1回	1回	1回
管 理 職 員 対 象	2回	2回	1回

平成30年度には全職員を対象としたマナーアップ研修会を実施しました。



農業関係体制の構築取り組み

農業規模拡大に向けた提案できる体制構築

農業規模拡大に向けて適切な資金提案が行えるよう、営農指導だけではなく、経営指導が行える人材育成と体制構築をすすめています。

▼農業融資の実績

平成28年度	平成29年度	平成30年度 (12月末)
197百万円	105百万円	124百万円

【農林中央金庫への出張研修内容】

- ・農業者への融資の基礎知識の習得
- ・農家訪問による融資の説明



流通経路の見直しと新たな体制構築

売れる作物の栽培促進を図り、適切な資金提案が行えるよう、営農指導だけではなく、経営指導が行える体制構築をすすめています。

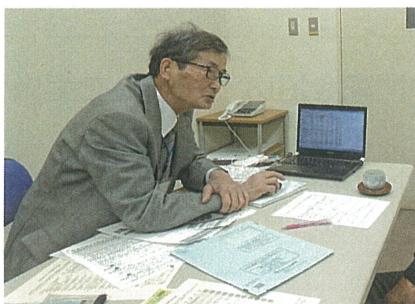
■実践事例

- ・市場にてトップセールスの実施
- ・新規市場への出荷
- ・タイヘイチゴの出荷
- ・契約出荷（小松菜の週間値を決めて販売）
- ・大手スーパーへ直送便で配達
- ・トレビス等の西洋野菜の出荷
- ・ふるさと納税返礼品の実施 等



▲生産部会と役職員によるトップセールス

無料で実施をしている各種相談会



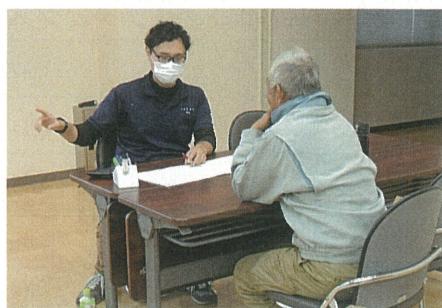
【年金相談】社会保険労務士の先生を招き、年金受給者へ相談会を開催しています。

【共済相談】スマイルサポートーやライフアドバイザーがお客様のご要望にあったプランをご案内しています。

【相続セミナー】外部講師を招いて「相続対策セミナー」や「遺言セミナー」を定期的に開催しています。



J A 太田市では、暮らしに必要となる各種相談会を開催し、組合員・地域の方へ暮らしのサポートを実施し、地域より必要とされるJA活動を展開しています。



【納税相談】職員が1人1人の確定申告等のサポートを行っています。

変わるJA 広がる地域のきずな

変わるJA 広がる地域のきずな

監修=広島大学
助教 小林元

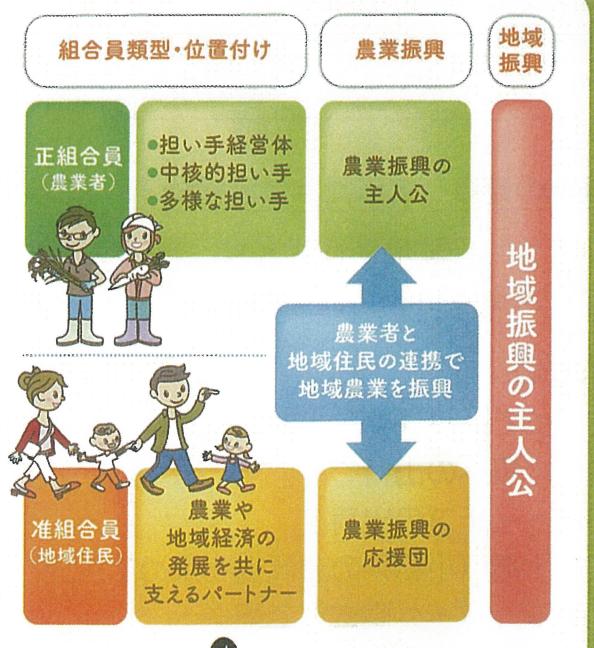
Q. JAの正組合員と准組合員の違いって何?

A. 正組合員は農業の主人公、准組合員は地域を豊かにする協同の仲間です。

JAの組合員は、農協法の中で、正組合員と准組合員に区分されています。JAの正組合員は、農業を営む人々や農業で働く人々、そして農家の家族の皆さんです。協同の力で豊かな農業を育むと共に、消費者に安全で安心な農畜産物をお届けすることで、わが国の食と農を守り、農業を通じて地域を豊かにする主人公、それがJAの正組合員です。

対して、農業に直接的に関わることがあまりない人々も含めて、だれでもJAの総合事業を利用できるように、准組合員という仕組みがあります。准組合員は、事業を利用するだけではありません。正組合員がつくった農産物を食べる人々でもあり、地域農業を、食を通じて支える大事な仲間です。中には、食べるだけでなく、一緒に農業に関わる准組合員も増えています。

現在の制度では、JAの運営は正組合員が中心となっています。これからは対話を通じて、准組合員の声もJAの運営に反映することが大事になっています。



耕そう、大地と地域のみらい。

J Aは、 地域を支える多くの役割 を担っています。

車などで走っているとよく見かける『JA』の看板。JAはどうしていろいろな事を行っているの?と思うかもしれません。でも、地域の農業を守るためにには、まず地域社会の安心、経済の安定が必要となります。JAは地域の暮らしに寄り添いながら様々な活動を展開しています。JA太田市をはじめ、群馬県には15のJAがありますが、もしJAがなくなったら...?

もしJAがなく
なつたらどうなるの?



直売所が なくなつたら！



地域で作られているおいしい農産物をお手軽に手に入れることができません。
直売所は地元の生産者が採れたてを直接出荷し、消費者と生産者の交流の場となっています。

ATMが なくなつたら！



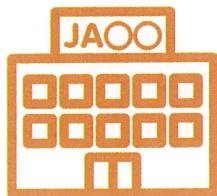
振込みや現金の引き出しなど、日常生活であたりまえのように行っているお金のやり取り。もしそのあたりまえがなくなつたら大変です。
JA銀行のATMは各地で稼働中。手数料無料のATMネットワークは業界トップクラスです！

ガソリン スタンドが なくなつたら！



自動車の燃料や農業機械の燃料、生活で使う灯油など、ガソリンスタンドが無くなると大変！
JAのガソリンスタンドは県内各地に60店舗以上展開し、地域に密着したサービス提供を行っています。

JA店舗が なくなつたら！



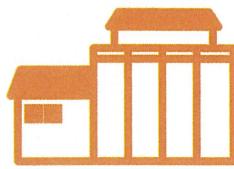
地域で悩み事の相談ができる機会が減ってしまう！
JAは地域の皆さんに寄り添い、いつでもご相談いただけるよう、店舗の営業を続け地域に貢献しています。

農業や農地が なくなつたら！



生きていくのに必要な農産物の生産や、環境保全など多面的役割が果たせなくなります！
JAは安全・安心な農産物を安定供給する組織として、生産者とともに地域の農業を支えています。また農業には地域の景観維持や環境保全など大切な役割も担っています。

カントリー エレベーターが なくなつたら！



お米の乾燥・調整・貯蔵などの作業を生産者自ら作業する必要があるため、莫大な費用や労力が必要になります！
生産者の負担を減らし、効率的な農業をサポートするためJAのカントリー エレベーター や野菜の集出荷施設などは稼動しています。

J A太田市 管内施設・事業所マップ



J A太田市管内で生産されている主な作物

米麦	ほうれん草	小松菜
小玉スイカ	ねぎ	なす
枝豆	きゅうり	いちご
モロヘイヤ	ブロッコリー	など

HPはコチラ

